

令和5年度 第4回 藤沢市立鵠洋小学校 学校運営協議会会議録

開催日時 2023年12月15日（金）10時～12時  
場 所 鵠洋小学校 相談室

<p>出席委員等</p>	<p>河村 満 会長／鵠沼ふれあいトライアングル 代表          亀本 淳夫 副会長／鵠洋小学校 校長          坂田 千鶴代 鵠沼南地区民生委員児童委員協議会 副会長          徳永 理加 鵠沼南地区民生委員児童委員協議会 主任児童委員          寺田 言子 鵠沼地区青少年育成協議会          吉田 正彦 学識経験者（元鵠洋小学校校長）          浪川 征子 どんこ児童クラブ 代表          後藤 洋平 KFP（鵠洋ファザーズパトロール）代表          牧 理英 鵠洋小学校PTA 代表          山口 秀俊 鵠沼市民センター センター長</p> <hr/> <p>出席委員：10名（欠席委員：2名）          事務局：亀本 淳夫（鵠洋小学校校長）          傍聴人数：0名</p>
<p>次第</p>	<p>1 開 会          2 会長あいさつ          3 議 題          （1）今後の学校支援について （学校長）          （2）学校の現状の課題について （学校長）          （3）学校評価について （学校長）          （4）防災教育の取り組みについて （各委員）          （5）その他          4 その他 次回の会議日程          5 閉会</p>
<p>協議内容</p>	<p>（1）今後の学校支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 亀本副会長 3学期の校外行事は、1月に4年生がプラネタリウム見学、2月に6年生がお別れ遠足を実施する予定。</li> <li>・ 後藤委員 KFPで見守りをさせていただくが、目的地までのルートをよく確認してほしい。2学期の見守りの際に感じたことだが、先生方から示されたルートが交通量の多い道であったり、また、先頭の先生が道に迷っている様子も見られた。ルートを提案することもできるので、是非、事前に相談いただきたい。</li> <li>・ 徳永委員 民生委員で引率者を募ることもできる。必要であれば、依頼してほしい。</li> </ul>

- ・ 亀本副会長 非常にありがたい提案に感謝する。民児協の方々には、2学期も遠足に同行してもらったり、給食の配膳・下げ膳、清掃指導等を手伝っていただいた。  
また、目的地までの安全なルートについては、KFPの皆さんの方が熟知されていると思うので、相談させてほしい。

## (2) 学校の現状の課題について

- ・ 亀本副会長 依然として、産休者、療休者、もともとの欠員職員の関係から、人手が足りない状況が続いている。  
教員不足については、全国的にも報道されているとおりが、本市においても、本校に限らず、どこの学校でもかなり深刻な状況である。  
加えて、次年度の児童数増に係る学級数増加に対して、教室が足りないという問題もある。  
昨年度からの計画で、現在、視聴覚室を普通教室2教室に転用する工事を行っているが、それだけでは足りない状況にある。しかし、現在、図工室も普通教室として使っている状況であり、これ以上、特別教室をなくしていくことはできないと考えている。  
一番ありがたいのは、仮設校舎の建設であり、市教委にもお願いしているが、かなりの費用が必要なため、現状は難しいとの回答があった。  
最後に、交通安全指導について、皆さんの意見を伺いたい。  
ここ最近、下校時の歩き方について、地域の方や車のドライバーから苦言をいただくことが多い。広がって歩いたり、急に飛び出したり、信号待ちの車に故意に触るなど、交通事故の危険を子どもたち自身が、自分事として捉えていない状況にある。  
子どもたちがもっと交通安全を意識するような指導方法について、何か良いアイデアはないか。
- ・ 後藤委員 「危ないよ」という声かけは通じない。自分では危ないと思っていないから。今意識しているのは、子ども自身に確認させること。「左右を見て」「一旦止まって」など、子どもに動作するよう促している。
- ・ 吉田委員 「周りの大人が守ってくれる」といった安心感から、自分で気を付けようとしないのであれば残念なこと。  
最近、心掛けていることは、ドライバーに挨拶をすること。こちらから声をかけると、挨拶を返してくれる方もいる。ドライバーと顔見知りになることで、子どもへの注意を促していくことも必要ではないかと感じている。また、子どもたちに聞こえるように、ドライバーへの感謝を伝え、ドライバーが自分たちに配慮してくれていることに気付かせるようにしている。
- ・ 坂田委員 交通安全指導は、家庭の力も重要。親が交通ルールを蔑ろにしているようでは、いくら言っても身につかない。  
保護者も子どもが登下校している様子を是非見ていただいて、「この状態では危険」といった課題意識を持って、家庭教育による交通安全指導に協力いただきたい。
- ・ 河村会長 子ども同士で考えるような授業を計画してはどうか。例えば、高学

・吉田委員

年が低学年向けに交通ルール、交通マナーについて教えるような。警察に講師を依頼してみるのはいかがでしょうか。本物の警察官が講義してくれば、真剣味が増す。

・浪川委員

子どもたちの通所前は、できるだけ児童館の前に立ち、子どもたちの下校指導を行っている。ランドセルをしょって、勢いよく駆け出す子どもを見ていると、事故に遭わないか心配になる。

・吉田委員

腕章やベストを着て、毎日、決まった場所に立っていれば、子どもたちも見守りの大人だと分かってくれる。しかし、下校時は、子どもの下校時刻も曜日や学年によってまちまち。定期的な見守りは、難しい。かといって、夕方、子どもたちの様子を見て、心配だからと突然声を掛けると、逆に不審者扱いされてしまう。

・亀本副会長

様々なご意見、ありがとうございます。交通安全指導は、防災教育同様、現在は、朝会や学級指導等、短時間でしか扱っていない。今後は、校内安全部とも課題を共有し、効果的な指導につながるよう工夫していきたい。

### (3) 学校評価について

・吉田委員

「あてはまる」「よくあてはまる」を合わせて8割を越えていれば、良好と考えて良いと思う。そういった見方をした時、児童からは、「あいさつ」と「困ったときの相談者」、保護者からは「教育方針の提示」と「施設の整備」が課題ではないかと思われる。なかでも「施設の整備」は、半分以上の保護者が問題があると捉えている。先ほどの教室が足りないといった状況から、さらに特別教室をなくす選択をすれば、ますます不満は高まると思う。

・河村会長

「施設の整備」について、学校でできることは限られている。特に教室が足りないことなど、本来、学校の課題ではない。教育委員会、さらには市としての課題である。

「普通教室が足りないから、特別教室をなくす」ではなく、子どもたちの学びを保障するための環境づくりを真剣に考えてほしい。

・亀本副会長

ご意見、ありがとうございます。

「教育方針の提示」については、学校だより等で、引き続き伝えていきたい。「施設の整備」についても、引き続き市教委に訴えていく。また、児童の方の課題として上がっている「あいさつ」については、朝会等の機会に呼びかけていくとともに、教師が率先して、子どもたちに挨拶することで手本を示していきたい。一方で、「困ったときの相談者」については、喫緊の課題として捉え、子どもたちが困ったときに、何でも相談できるような体制づくり、例えば、学級での面談や生活アンケート等を活用し、担任が子どもの困り感により一層、気付いていけるようにしていきたい。

なお、次年度以降、この学校運営協議会での取り組みについても、評価してもらえるよう項目を設定したいと思っている。

学校行事の際の見守りや、交通安全指導、防災教育等、PTAやKFPの組織や地域の支援者による取り組みを、本校の保護者がどれだけ知っているのか、評価という形で問うてみたい。また、それによって、もっと協力者が増えていくことを期待している。

### (4) 防災教育への取り組みについて

- |        |   |
|--------|---|
| ・河村会長  | 10月末に鵜沼地区の防災訓練が行われたが、そのことについて、報告をお願いします。  |
| ・山口委員  | 10月28日に「鵜沼地区総合防災訓練」を鵜洋小校庭と体育館をお借りして開催した。この訓練の主催は、地区町内会自治会連合会で、当日は480人の参加があった。少し残念なのは、子どもの参加が少なかったこと。子どもたちも楽しめるような、ゲーム的な企画も用意していたのに残念。   |
| ・坂田委員  | 各ブースで様々な体験ができた。浸水歩行や煙体験等、こんな状況になるのかと言うことを、言葉や文書で示されるものとは違い、肌で感じる事ができた。  |
| ・亀本副会長 | 私も起震車に乗ったが、震度6強はやはり凄まじい。これが突然起こったら、本当に恐怖でしかない。<br>子どもたちにも是非、こういった体験をさせたいが、1200人以上の児童を一斉に体験させることは無理である。  |
| ・山口委員  | 次年度は、10月26日に鵜沼小学校で実施の予定。併せて、公民館まつりが19日、20日の予定である。10月は地域行事が多く、学校行事の設定も大変かと思うが、可能であれば配慮いただけるとありがたい。   |
| ・河村会長  | 学校から防災教育に関連して、何かあるか。  |
| ・亀本副会長 | 11/24に、抜き打ちの避難訓練を行った。抜き打ちというのは、周りに大人がいないという設定。学校事情から、実施は20分休みに限られてしまうが、子どもたちの様子を見ると、まだまだ自分事として捉えていない状況がよくわかった。<br>現状、地震発生時の避難を考える場合は、この避難訓練しかない。その貴重な機会に本気で考えてもらえなければ、次は何ヶ月も先になってしまう。振り返りの講評で、子どもたちには訴えたが、どれだけ伝わただろうか。<br>次年度は、学校運営協議会における防災教育の一環として、避難訓練に何か工夫できることはないか、考えてほしいと思っている。 |
| ・事務局   | 次回は、1年間の取り組みの振り返り等を話し合っていきたい。<br>以 上  |

次回開催予定 2024年2月27日(火) 10時～  
場 所 鵜洋小学校 相談室